

# 諏訪市神宮寺の温泉と希少石

## 伊那谷の間伐材から採った精油

# 地域の“宝”初コラボ



神宮寺の温泉水と伊那谷産の精油でせっけんを作る参加者

諏訪市中洲神宮寺の温泉や産出の希少石「神宮寺石」と、伊那谷の間伐材から採った精油を使ってせっけんやアロマストーンを作る体験ワークショップが9日、同市の諏訪大社上社東参道沿いの交流スペース柏屋で開かれた。地元住民でつくる上社周辺まちづくり協議会と、伊那市長谷の造林業者・つなぐ里山が初めてタイアップした催し。県外からも参加があり、諏訪、伊那谷の自然の恵みと魅力に触れた。

(日比野真由美)

それぞれが磨く地域独自の“お宝”を持ち寄って価値を高め合い、発信しよう」と協議会の提案で実現した。

神宮寺の温泉は諏訪の西街道沿線では珍しく、神宮寺石は同地域のみで産出し、国内でも特異性のある性質をもった希少性の高い石。一方、「つなぐ里山」の精油は、地元の里山を荒廃や松枯れ被害から守るために間伐した木材から採取しており、昨夏の信州ハンズクラフト大賞コンテスト

## せっけん、アロマストーンに

で県知事賞を受賞した。

ワークショップは2コースあり、せっけんはくみだての温泉水とせっけんの粉、マツの精油を混ぜて固めて完成、アロマストーンは神宮寺石を砥石で思い思いの形に削って磨き、精油を含ませた。せっけん作りをした地元の人「それぞれの地域の良いものを合わせたら、とても肌に良さそう」と使用を楽しみにしていた。

ワークショップを設営したつなぐ里山の北島穂波販売促進部長は他地域との初連携に「それぞれのご当地性が一層高められる。体験を通して地域の自然資源、里山へ興味を寄せてもらえたら」と話していた。

# 諏訪で体験ワークショップ